

FutbolNetメソッドを用いた 包摂的スポーツ活動の実践

生涯スポーツ1/保健体育 人間学部 心理カウンセリング学科 専任講師 前鼻啓史

本実践でのALの種類

- PBL (問題解決型授業)
- 発問・応答・挙手を求め学生が発言する
- 学生がコメント・質問を提出及び回答する
- 課題やレポートの提出
- ディベート (討論) の利用
- ロールプレイング / シミュレーション / ゲーム
- ピアティーチング (学習者同士の教え合い)
- 反転授業 (家で授業の映像を見る)
- フィールド学習
- クリッカーを用いた双方向学習
- E-learning
- プレゼンテーション
- グループワーク・ペアワーク
- 振り返り
- その他

本実践の概要

バルサ財団により作成されたFutbolNetを、本学の実習系授業において試験的に実践したものである。

ALに向けて工夫した点や魅力、お勧めのコメントなど

本メソッドが重点を置く5つの価値観：敬意、努力、野心、チームワーク、謙虚を授業を通じて学ぶ

アクティビティ後の
振り返りの様子



履修人数 35人

本実践課題の所要時間：1コマ

本実践でのALの取り組みやすさ

本実践の盛り上がり度

本実践での学修達成度

★★★★★

★★★★★

★★★★☆

本実践の手順

事前準備

アクティビティで使うことが予測されるアイテム等の準備 (コーン、マーカー、ビブス、ボール)、障がいのある学生への様々な配慮。

授業の流れ

本メソッドが重点を置く5つの価値観：敬意、努力、野心、チームワーク、謙虚について提示し、受講者全員が安心して包括的な環境でアクティビティを行う場を構築する。また、受講者同士のコミットメントを促進するために、周囲をサポートすること、安全を意識すること、時間を守ること、積極的に参加することを強調する。

以下、5つの価値観において焦点化する内容

敬意：①自分自身への敬意 (前向きな思考、健康的な心身、残存の機能)
②他人への敬意 (性差、障がい、文化)

努力：①課題意識
②自己受容

野心：①熱意・情熱
②意思 (自己犠牲)

チームワーク：①責任感
②協力

謙虚：①誠実
②感謝

①アクティビティ提案/説明

価値観を基盤とした意義のある体験ができるようなアクティビティを提案する。その際、アクティビティにて用いられるルールやオプションについては受講者全員の合意が必要となる。

②実践に移す

受講者全員が合意したルールやオプションに準拠しながら、アクティビティを通じて自らの行動に責任を負いつつ価値観を思索するための能力を開発していく。

③体験とその価値について考える

アクティビティ終了後、受講者全員が個々のリズムを尊重できるよう落ち着きを取り戻す時間と言葉がけが必要となる。輪になって座り、全員が体験したことについて共有し、価値観と結びつけて今後の授業で行うスポーツ活動や他科目 (健康科学) でも活かせるように導いていく。

事後

心身ともに落ち着いた元の状態に戻すことを助けるインテンシティの低いゲームや、静的あるいはリラックスできるストレッチを行う。

補足

授業の導入としてただレクリエーションを実践するだけではなく、FutbolNetメソッドによる焦点化した学びにより授業への関心が高まる。

【参考資料】

- ・「FutbolNetプログラム」
<https://foundation.fcbarcelona.com/fundacio> (最終閲覧：2019.9.9)